

# うめナビ

2022.3  
Vol.116

## 靴のスペシャリスト 「シューフィッター」がいるお店

キング堂靴店



キング堂靴店(世田谷区奥沢、荻野雅司取締役、03・3726・4366、<https://www.kutunokingdo.org/>)は、1935年に靴の製造店として開業し、現在は主に学童・学生の靴を販売する、地域に愛される靴専門店だ。

学生時代、学生靴を買い替えるたびに靴擦れができてしまったという思い出はないだろうか。親子揃って靴屋に行き、サイズ合わせをしたにも関わらず足が痛んでしまうというのはよくある話だ。こうした悩みを解決するのが「シューフィッター」、靴選びのスペシャリストである。



「シューフィッター」とは、「一般社団法人足と靴と健康協議会」が認定する資格である。足に合わない靴を履くことは靴擦れだけでなく、将来的に足腰や背中を痛めるなど全身にまで害を及ぼす。それらのトラブルを未然に防ぎ、履き心地の良い靴を提供することを役目とする。

同店では、社長を含めて有資格者が三名おり、必ずお客様一人ひとりのフィッティングを行う。フィッティングの際は、サイズや歩き方、要望も含めて靴を選んでもくれるため、リピート購入が非常に多い。保護者からの評判が高く、学校との取引が多いのも、丁寧な靴選びによるところが大きいだろう。

遠方で来店が難しいければ、電話やホームページからの問い合わせも受け付けており、事前にホームページにある「足サイズ測定用紙」を使えば、スムーズに相談することができる。また、Zoomを用いたオンライン面談も可能だ。

「子どもにあつた靴を選びたい」という方、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

## エンタメ業界の照明演出技術を 農業分野に活用

ヴェーナスレーザー  
Venus Laser

ヴェーナスレーザー(千代田区外神田、奥平賢浩社長、03・5826・4561、<https://venuslaser.jp/>)は、日本では数少ない、照明やレーザーを使用したショーの企画運営会社だ。その実績は、世界遺産や国宝など大規模なものから、歌番組やコンサート、またイルミネーションショーなど多岐にわたる。さらに、ショーに使用する機器やシステムの開発も手掛けており、ショープログラムミングのソフトウェア開発と独自のレーザー機器などのハードウェア開発の両方を得意としている。

コロナ禍でショーの開催が減るなか、「防鳥にレーザービームが有効」という話を聞き、農業分野に同社の技術を活かせないかと考え、屋外用の監視カメラにレーザー機器を搭載、安全かつ効果的なレーザービームの描画パターンをプログラムした製品を開発した。

製品をWEB上で紹介したところ、農業新聞や建通新聞への掲載、さらには各種の専門サイトへ連鎖的に掲載されるなど、予想以上の反響があった。「新聞掲載された日は、朝から電話が鳴り止まず、弊社の技術が農業分野に活かせるという確信を得ることができた」と奥平社長は語る。現在はこの製品に「レーザーかかし」と名付けて販売し、さらに農家からの要望でソーラーパネルを搭載した製品の開発を行なっている。このソーラーパネルを搭載する技術は、今後ショーにも活かしていく方向で、日中に充電したエネルギーで夜にショーを披露するといった、国内初のカーボンニュートラルな光のショーを企画している。

製品をWEB上で紹介したところ、農業新聞や建通新聞への掲載、さらには各種の専門サイトへ連鎖的に掲載されるなど、予想以上の反響があった。「新聞掲載された日は、朝から電話が鳴り止まず、弊社の技術が農業分野に活かせるという確信を得ることができた」と奥平社長は語る。現在はこの製品に「レーザーかかし」と名付けて販売し、さらに農家からの要望でソーラーパネルを搭載した製品の開発を行なっている。このソーラーパネルを搭載する技術は、今後ショーにも活かしていく方向で、日中に充電したエネルギーで夜にショーを披露するといった、国内初のカーボンニュートラルな光のショーを企画している。



うめナビ  
送付先業種

商社 4先

スーパー・小売・百貨店 21先

メーカー 14先

マスコミ・出版 29先

教育(大学・専門学校) 32先

官公庁 34先

ホテル 7先

金融 48先

建設・不動産 13先

システム関連 8先

その他 38先

合計  
248先

※ 本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

# 新しい読書のカタチを提案する 「ポケットアンソロジー」

田畑書店



クシオンなど順次作品数を増やしていく。「この商品の特長は『自分で編集する』楽しみがあることです。ふつう『アンソロジー』を編むのは、作家や批評家、あるいは編集者の特権でした。そして魅力的なアンソロジーを編むことは、非常にやりがいのある楽しい仕事です。その『楽しさ』を広く読者自身に味わっていただきたい、というのが私たちの願いです」と大槻代表は語る。

田畑書店（千代田区九段南、大槻慎二代表取締役、03・6272・5718、<http://tabatashoten.co.jp/>）は、創業53年の出版社だ。主に社会科学系の良書を多数刊行している。

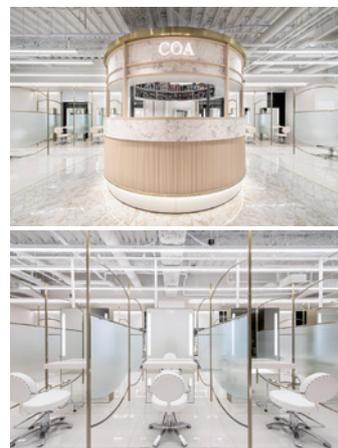
電子書籍が隆盛の現在、「紙の本なんてもう時代遅れ…」という風潮を逆手にとった商品が「ポケットアンソロジー」だ。短編小説を一編ずつ、まるで手帳のリフィルを綴じるかのように個別に買い求め、「ブックジャケット」に綴じて読むことができるという、今までにないまったく新しい「読書のカタチ」を提案する。文庫サイズの版面に、こだわりの明朝体を使った美しいレイアウト、さらに薄くてコシの強い特殊な用紙を使用することで、あえて「紙」で読むことに徹底的にこだわった逸品だ。まずは近現代の日本の短編小説を中心に作品を展開し、海外翻訳小説やエッセイ、ノンフィ



スマホやタブレットなどデバイスの液晶画面を通して様々な文学作品が読めるようになった現代だからこそ、偶々にも工夫をこらした「ポケットアンソロジー」で造本という新たな読書体験をしてみたいかがだろうか。

# SNS総フォロワー70万人以上 カットのプロが銀座に集結

コア COA



カット、カラーリング、髪質改善等、それぞれの分野で圧倒的技術を持つトップクリスのみで揃えている。特に小西代表は売上・指名数ともに店舗No.1の人気で、自身の書籍出版やメディアにも多数出演する日本を代表するカリスマスタイリストの一人である。

COA（中央区銀座、代表取締役・青木大地・小西恭平、03・6264・1369、<https://beauty.hotpepper.jp/shH000543596/>）は、トップスタイリストによるヘアサロンの運営会社だ。

2021年10月に銀座駅徒歩3分の新築ビルに110坪のヘアサロン「COA GINZA（コアギンザ）」をオープン。フルオーダーで独自のデザインにより銀座に相応しい高級感あふれる美容室を造り上げた。店内は開放感があり、セット面33席すべてに仕切りを設置することで、プライベートな空間を実現している。また、完全個室のファミリースペースもあり、子どもと一緒にでも周りを気にせずリラックスしたひと時を過ごすことが出来る。所属スタッフは



美容師としての技術の他に、ヘア用品の商品開発も手掛け、自社ブランド「COA+（コアプラス）」を立ち上げている。髪質改善に使われる酸熱トリートメントやヘアオイルを自社開発しており、全国100店舗以上で販売されている。次に発売を予定しているのが、お肌と環境に優しい泡立ちの良いシャンプー・トリートメントだ。「美容師ならではの知識と感覚を全て注ぎ込み、今までにない美容室と商品開発を行っていただきます。COAとしてたくさんの方をよりキレイに、美容を楽しんでいただきたいです」と青木代表は語る。

# 創業大正12年、老舗日本料理店は お客様に支えられて99年

日本料理天濱



提供されている。胡麻油の香りと軽い衣の天ぷらを自慢の逸品としており、揚げたての天ぷらを堪能できるカウンター席もある。また、法事・慶事など幅広く利用できる空間づくりにも努めているという。

日本料理天濱（調布市小島町、小野勝昭取締役、042・489・5440、<https://chofu.parcop.jp/shop/detail/?cd=002736>）は、1923年に現社長の祖父が「濱乃旅館」として創業したことに始まる。その後、事業を引き継いだ二代目が天ぷら専門店を開業し、1976年に有限会社天濱乃家として法人を設立した。三代目である現社長は、天ぷら割烹・会席料理店を開業。1989年には、調布パルク開業と同時に、現在の店「日本料理天濱」を同施設7階に出店した。

河豚・鰻・活魚といった新鮮な食材は、豊洲市場より直送で仕入れられており、会席料理から一品料理まで、板前が作る本格料理が手頃な価格で

「創業以来、一期一会の精神を大切に、真心を込めた料理とサービスの提供を心がけています。四季折々の料理を楽しんでいただけるよう、定期的なメニューの更新にも取り組んでおり、お客様に喜んでいただける事が何よりの励みです。99年も事業を続ける事ができたのは、三世代に亘ってお店を支えてくださったというお客様のご愛顧の賜物と、心から感謝申し上げます。今後は少しでも地域社会に還元していくことのできる会社を目指して、従業員一丸となり、一層の努力と創意工夫に邁進していきたいです」と、小野芳正専務は語る。

